

2020年7月1日09:30 (日本時間) / 00:30 (協定世界時) まで公開禁止

auじぶん銀行 日本製造業PMI®

製造業の需要は引き続き低迷。厳しい状況が続く

主な動向

低調な受注数が原因で、企業は生産能力を落として稼働

新型コロナウイルスの感染拡大に起因する混乱が続き、輸出需要は減少

景況感はプラスに回復

データ収集期間：2020年6月12～23日

日本の製造業の経済活動は6月にさらに深刻さを増す結果となった。最新のPMI調査によると、新規受注数、生産高、購買活動が大きく減少している。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行が続く中、国内外共に脆弱な経済状況が続くことから、生産ラインを再開した企業は生産能力を大きく抑えて稼働したとのこと。

しかし、景気回復の期待の高まりを受けて、景況感は2月以来初めてプラスに立ち直った。

6月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™(PMI)®(製造業の全体的業況を表す指標)は、5月の38.4から40.1へと多少上向きを見せた。ただ、指数は上昇したものの、「変化なし」を表す50.0の水準を大きく下回ったままであるため、日本の製造業の業況がさらに悪化していることを示している。

最新のデータからは、日本の製造業の生産高が大きく落ち込んでいることが読み取れる。調査対象企業から寄せられたコメントに鑑みても、多くの企業が生産高の落ち込みに新型コロナウイルス感染症の世界的大流行との関連性を指摘。売上の不調を受けて、操業度を抑えて稼働している。48%というほぼ半数の調査対象企業が、生産高が減少したと報告。これに対して、6月に生産高が増えたという企業はたったの13%だった。

受注数は5月と比較して大きく落ち込んだ。悪化状況は小さくなったものの、全体的には依然として厳しいままとなった。製造業の実態を見る限り、消費の低迷や、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の混乱、業況の軟調が受注減に強く影響している。海外輸出にも同様の傾向が見られ、減少率は若干勢いが弱まったものの、6月も急減した。市場グループ別データは、消費財メーカーで海外輸出が増えたことを指摘。一方で中間財と生産財メーカーはさらなる受注減を記録した。中国からの需要が増えたとコメントを寄せる企業もあった。

しかし、状況を広範に捉えると需要は未だ低調なままであるというこ

(次頁に続く)

auじぶん銀行 日本製造業PMI
季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出典：auじぶん銀行、IHS Markit

コメント

IHS Markitエコノミスト、Joe Hayesによる最新調査結果へのコメント

「日本の製造業では、未だ大幅な回復の兆しを待ち望んでいる状況だ。6月のPMI調査からは、緊急事態宣言が解除され、多くの主要な取引先が営業自粛等から再開したものの、現実的な回復期に入ったとは言えない状況が読み取れる。

製造業のV字回復の望みは現状薄い。国内を重視するサービス業がもっと活動をするようになれば、経済活動回復の二極化が広がるだろう。

新規受注数や輸出といった、この調査から見える将来見通しの前向きな要素を注視していくことが重要になる。これが今後数か月にわたる稼働率の方向性を左右することになるだろう。製造業者が資源をもっと投入して生産高を上げるには、世界全体で長期的に需要好調が続く必要がある。」

ともあり、日本の製造業では、今後も生産能力の余剰が増加する気配を感じさせた。受注残は著しく減少した。ここ何年かで記録的数値となった5月の指数に類似している。生産高の低迷により、企業は購買活動を控え、購買数量も2009年3月以来の二番目に著しい勢いで落ち込んだ。雇用も加速する勢いで減少した。

購買数量の落ち込みと雇用減があったにもかかわらず、全体的な購買コストは6月に増加を見せた。調査対象企業は、サプライヤー側の在庫不足が購買価格を押し上げていると指摘している。購買コストの上昇を背景に、6月は企業が販売を促進しようと販売価格を引き下げた。

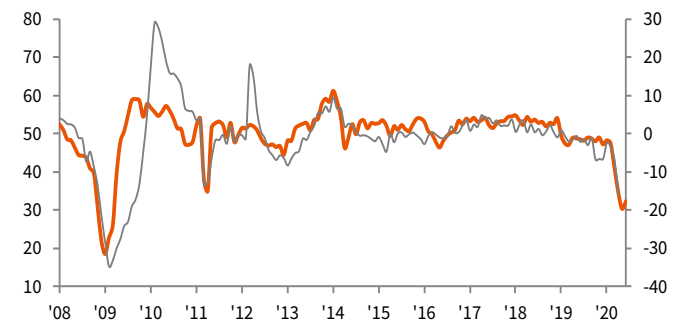
最新の調査データでは、サプライヤーの納期がさらに長期化していることを指摘。配送は混乱した状況が続いており、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行を受けて特に海外サプライヤーからの影響が大きい。しかし、サプライヤー納期の長期化自体は5月と比較すると大きく和らいでいる。

最後に、景況感は2月以来初めて、プラスに転じた。景況感が立ち直ったのは、経済が徐々に回復し、今後12か月にわたり生産高が現状から増加するだろうという期待によるものだ。

PMI生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高
前年比 (%)



出典: auじぶん銀行, IHS Markit, 経産省

お問い合わせはこちらへどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Joe Hayes
エコノミスト
IHS Markit
電話: +44 1491 461 006
joseph.hayes@ihsmarkit.com

Bernard Aw
プリンシパル・エコノミスト
IHS Markit
電話: +65 6922 4226
bernard.aw@ihsmarkit.com

Katherine Smith
パブリックリレーションズ
IHS Markit
電話: +1 781 301 9311
katherine.smith@ihsmarkit.com

調査方法

auじぶん銀行日本製造業PMI®は、IHS Markitが製造業約400社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめています。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数(ディフュージョン・インデックス)を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば前月比で全体として増加したことを、50を割り込めば全体として減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

主要指数は購買担当者指数™(PMI)です。PMIは次の5つのサブインデックスの加重平均です: 新規受注(30%)、生産高(25%)、雇用(20%)、サプライヤー納期(15%)、購買品在庫(10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になる計算方法で算出しています。

基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調整要因は必要に応じて修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2020年6月のデータ収集期間: 2020年6月12日~23日。PMI調査方法の詳細は、economics@ihsmarkit.comへお問い合わせください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はIHS Markitに帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、IHS Markitから事前の承諾がない限り認められません。IHS Markitとauじぶん銀行は、当レポートの内容またはそこに含まれる情報(「データ」)、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものではなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、IHS Markitとauじぶん銀行は一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はMarkit Economics Limitedの登録商標、もしくはMarkit Economics Limitedに使用が許諾されたものです。IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーは

auじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専業銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

IHS Markitについて

IHS Markit(NYSE: INFO)は、世界の経済を促進する主要産業・市場のために必須情報・分析・ソリューションを提供するリーディングカンパニーです。次世代の情報・分析・ソリューションを企業、金融機関、各国政府に提供し、経営効率の改善および正しい情報に基づいた意思決定のための洞察に役立てていただいております。企業・政府機関の顧客数は50,000を超え、ここではFortune Global 500企業の80パーセントと世界の大手金融機関も含まれます。

IHS MarkitはIHS Markit Ltd及び/又はその関連会社の登録商標です。その他全ての社名及び製品名はその各々の所有者の商標である可能性がありますのでご注意ください。© 2020 IHS Markit Ltd. 禁無断転載。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@ihsmarkit.comへお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは、[ここをクリック](#)してください。

PMI(購買担当者指数)

「購買担当者指数™(PMI®)」調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、ihsmarkit.com/products/pmi.htmlをご覧ください。